

三重県営サンアリーナ事業計画書の要旨

申請者名	株式会社スコルチャ三重
1 管理経営方針	■当社の企業理念 サンアリーナを集客交流、産業・観光活性化、地域振興の拠点とし、伊勢ならではの『もてなしの心』を持って ○県民には健康・文化交流の場として ○県外からの来訪者にはスポーツ・文化県三重の標榜と地域観光窓口として ○地域産業には経済活性化の基盤として のお役立ちに努め、『しあわせ連鎖』の複合的相乗効果を創出します。 ■新5ヶ年に向けてのテーマ ・指定管理実績20年間の「知識と経験を生かした管理・運営」を軸に県外からの誘客や県民のスポーツ振興、県民サービスの向上を今まで通り心掛け管理運営を行います。 ■管理経営の基本方針 「適正に管理する」基盤の上に、「であいと交流のステージを活性化することこそが当社のサンアリーナ管理経営の基本方針です！ 地域に根ざし、地域と連携し、地域への貢献を目指す当社が、サンアリーナという素晴らしい舞台で精一杯の持ち味を発揮し、成果の創出に挑戦します！ ■企業の社会的責任 ・当社が定めた「企業理念」「コンプライアンス方針」「社員行動指針」「個人情報保護方針」を実践していきます。また環境配慮、社会的弱者への配慮や労働安全衛生にも取り組みます。
2 管理業務に関する計画	■利用者の安全確保 ・職員の日常館内外巡視により整理・整頓と危険箇所の早期発見に注視し迅速な処置を行い、事故の未然防止に努めます。 ・夏場の熱中症対策をしっかりと実施します。 ・防犯カメラを増台・録画しセキュリティと安心・安全感を高めます。 ■施設、備品等の維持管理 ・施設維持管理基本仕様書を遵守し、職員と委託契約に基く専門業者との緊密な連携の下に、巡視点検、定期点検、法定点検の徹底と障害箇所の迅速な修復を行い、適正な整備水準の維持に努めます。 ・自らも積極的に修繕費を投入する一方、大型修繕課題については県のLCC（ライフサイクルコスト）による対応が適切に実施されるよう県施策に積極的に協力します。 ■災害・事故等への対応 ・万一の事故、災害に備え、危機管理マニュアル等の整備と緊急対応体制を構築するとともに職員の避難誘導訓練等を行います。 ・AEDや救急備品を整備し、救命技能を維持・向上します。 ■個人情報保護 ・個人情報保護法や県条例と併せ当社個人情報保護方針や規程を定め、遵守していきます。
3 運営業務に関する計画	■施設等の利用促進につながる取組 ・平成18年4月より従前の時間帯料金制から、1時間単位料金制に改善し、また様々な割引・減免制度を拡充しました。これによりサンアリーナという非常に大きな施設が、短時間でのご利用を希望される利用者でも大変利用し易くなりました。引き続き本制度を運用し、あらゆる利用者のニーズに応え、一層の利便促進を図ります。 ・ホームページをスマートフォン利用者からも閲覧し易いよう改善し、誘致促進につなげるとともに利用者のサービス向上に努めます。 ・「サンアリーナかわら版」を県内主要公共施設約200箇所に引き続き配置し、県民へ施設のPRに努めます。

		・大手興行会社、中央スポーツ団体、県内各団体への直接提案を積極的に推進し、従来以上に多くの大型催事の誘致の実現に努めます。 ■自主イベントを積極的に推進 ・自主イベントは、これまでサンアリーナと比較的疎遠であった幅広い県民の利用機会を創出し、その中で地域との連携を深め、地域活性化や県外誘客・スポーツツーリズムに寄与する目的のもとに、今後も積極的に開催を続けます。 ■利用者サービス向上に向けた取組 ・スマートフォンやノートパソコンの利用者のため Wi-Fi 環境を整備。 ・利用者からの声を反映し、ほとんどの会議室及び控室周辺に LAN 端子を設置しインターネット環境を整備。 ・令和 5 年 5 月にミニショップ（菓子、飲料、レトルト食品、日用品、スポーツ用品等の販売）へ QR コード決済（PayPay）を導入し利便性を高め今後も引き続き運営します。 ・催事（主催者）毎に当社の担当者を固定し、予約から利用完了まで連続性を保ち、安心いただけるサポート体制を引き続き運用致します。 ■他団体、地域との連携 ・地域の団体等と協同し自主事業を実施し地域活性化に努め、大型催事を誘致することで地域経済に貢献していきます。 ■利用者ニーズの把握と反映 ・当社では、ご意見箱の設置や利用者アンケートを実施することで利用者ニーズを把握し、管理運営に反映させております。 ■成果目標の達成 ・誘致活動の強化、そして自主事業による集客を積極的に行い県の設定した成果目標や自己設定目標について達成を目指します。						
4 収支計画の積算の考え方		■収支計画の積算の考え方 ・コロナ前とコロナ後の施設利用の状況を分析し、次のとおり市場の変化、社会の変化を検証の上、収支計画の積算をいたします。 ・市場の変化（東海地区のコンサート会場の新設他） ・社会の変化（急速に進む少子高齢化及びコロナ後の会議形態の変化） ■コスト削減の考え方 ・3大経費である人件費、業務委託費、水光熱費の削減及び適正管理に努めます。						
5 組織及び人員		■職員の雇用形態、勤務体制 ・人員の確保及び採用に関しては「県内雇用」「正社員登用」「高齢者の積極的な活用」を基本方針とします。 ・365 日・午前 9 時～午後 9 時の貸館対応を行うため、引き続き全職員が 1 か月単位の変形労働制で勤務し、勤務日と休日のバランスの取れたシフト勤務体制のもと、効率よく施設の運営管理を行います。 ■職員の人材育成 ・普通救命講習Ⅰ（AED 取扱訓練含む）及び防犯講習を定期的に全職員が受講するように致します。 ・基本は自己啓発を奨めつつ、勤務意欲ならびに専門技能の向上を目指し、社内外の研修参加や資格取得に取り組んで参ります。						
収支計画書（千円）	年度	R 8 年度	R 9 年度	R 1 0 年度	R 1 1 年度	R 1 2 年度	備考	
	収入合計	285,470	285,970	286,470	286,970	287,470		
	内 訳	指定管理料	201,320	201,320	201,320	201,320	201,320	
		利用料収入	73,700	74,200	74,700	75,200	75,700	
		その他収入	10,450	10,450	10,450	10,450	10,450	
支出合計	279,685	282,345	284,325	285,825	287,305			